

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月18日
事業名	施設維持管理事業	担当課・係名	福祉課障がい福祉係
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	35
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	平成15年度

2. 事業の概要

目的 (何のために)	障害福祉の増進と障害福祉活動の育成発展を図ること				
対象 (誰を・何を)	町内に居住する障害者等及びその家族、町内の障害福祉団体及び障害福祉関係者、その他町長が適当と認める者				
内容	施設の清掃、保守委託や修繕などの維持管理				
根拠法令・条例等	大磯町横溝千鶴子記念障害福祉センター条例、大磯町横溝千鶴子記念障害福祉センター施行規則				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	6,340	6,309	6,047
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円	2,128	2,117	2,108
	一般財源	千円	4,212	4,192	3,939
	職員人数 (概算職員数)	人			0.67
	人件費計 (b)	千円			4,030
総事業費 (a)+(b)	千円	6,340	6,309	10,077	
事業費内訳 H 25 年度	消耗品費：134千円 燃料費：344千円 光熱水費：2,652千円 修繕料：486千円 通信運搬費：251千円 各種保守委託料：1,900千円 複写機借上料：192千円 放送受信料：60千円 物品借上料：28千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 登録団体数	団体	20	20	20
	②				
活動指標 (活動量)	① 利用件数	件	384	423	450
	②				
成果指標 (達成度等)	① 利用人数	人	4,088	4,095	4,100
	②				

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	障がい福祉の窓口があり、町が実施主体となるのは当然であるとする。
妥当性	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他
	理由	日常の清掃は障がい者関連の社会福祉法人が就労訓練として実施。窓ガラス、ワックス床清掃は清掃業者に委託している。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他
	理由	年々施設利用者数が伸びており、有効活用されている。
効率性	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他
	理由	事務量の大部分を占める施設管理業務は、専門の業者に委託している。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input checked="" type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他
	理由	それぞれの委託についてその契約金額は、一部を除き、業者間での競争の結果が反映されており、適正な金額となっている。
担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）	評価理由 委託内容、委託先の見直しを必要に応じ行い、より効率的な管理を志向することで、改善の余地がある。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	委託を継続する中で、業務内容の適正性、必要性について精査を行う。
② 平成26年度に着手する事項	なし。
③ その他（課題、調整事項等）	平成15年の開所から10年が経過し、施設・設備が経年劣化していることから、定期的な保守点検を行い不具合の早期発見とその対応に努める必要がある。 平成15年4月の施設開所当時から2階を社会福祉法人が使用している。公平性の観点から、今後、施設使用の在り方については協議する必要がある。

6. 平成26年度事業への取組み状況（改善内容等）

平成26年4月より消費税がアップすることから、他施設と歩調を合わせ使用料の見直しを検討します。
